

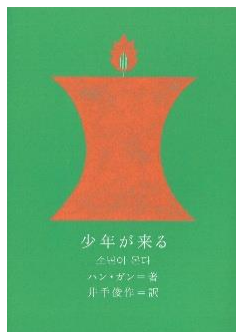
**「福岡ミュージアムウィーク 2025」関連イベント
ハン・ガン作品の翻訳者による講演会ほかを開催**

福岡市では、彩りにあふれたアートのまちを目指して「Fukuoka Art Next」を推進しています。今年も「国際博物館の日」（5月18日）にあわせ、「福岡ミュージアムウィーク」（5月17-25日）を開催し、福岡アジア美術館ではアジアとアートを身近に感じられる様々なイベントを行います。イベント参加とコレクション展の観覧はいずれも無料です。つきましては、広報にご協力いただきますようお願いいたします。

講演会

◆ハン・ガン『少年が来る』を翻訳して——韓国文学の魅力を探る

韓国の作家・ハン・ガン（韓江）氏が、2024年にアジアの女性として初めてノーベル文学賞を受賞しました。今年度のミュージアムウィークでは特別イベントとして、同氏の代表作のひとつ『少年が来る』（2016年、クオン）を翻訳した井手俊作氏をお招きし、本作の魅力について、また韓国文学の深さと広がりについてご講演いただきます。加えて、アジア美術館の所蔵作品のなかから、本作のテーマである光州事件を描いたホン・ソングムの連作版画「五月」をあわせてご紹介します。（本講演会は、45年前に光州事件が発生した5月18日に開催します。）

**ハン・ガン著／井手俊作訳****『少年が来る』2016年、クオン**

1980年5月18日、韓国全羅南道の光州を中心として起きた民主化抗争、光州事件。戒厳軍の武力鎮圧によって5月27日に終息するまでに、夥しい数の活動家や学生や市民が犠牲になった。抗争で命を落とした者がその時何を想い、生存者や家族は事件後どんな生を余儀なくされたのか。その一人一人の生を深く見つめ描き出すことで、「韓国の地方で起きた過去の話」ではなく、時間や地域を越えた鎮魂の物語となっている。（出版社紹介文より）

井手俊作

1948年福岡県生まれ。1974年早稲田大学政治経済学部卒。西日本新聞記者を経て2009年に韓国文学作品の翻訳を始める。訳書に崔仁浩の小説集『他人の部屋』と小説『夢遊桃源図』、『少年が来る』（韓江著）、『月光色のチマ』（韓勝原著）。九州芸術祭文学賞福岡県地区選考委員。

日時	5月18日（日）14:00～15:30（13:30開場）
場所	アートカフェ（7階）
定員	80名程度
参加方法	事前申込不要
参加費	無料

◆ギャラリートツアー

ボランティアが、当館所蔵作品の解説・案内を行います。

日時	5月19日(月)、20日(火)、22日(木)、23日(金) 14:00～14:40
場所	アジアギャラリー前集合(7階)
定員	各回 15名
参加方法	当日先着順 ※各回 13:45 受付開始



◆バックヤードツアー

普段は見るできない美術館の裏側を、学芸員がご案内します。

日時	5月17日(土)、24日(土) 14:00～15:00
場所	総合受付前集合(7階)
定員	各回 15名
参加方法	当日先着順 ※各回 13:00 受付開始



◆アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ

ボランティアがアジアの絵本と紙芝居の読み聞かせを行います。

大人の方だけの参加も歓迎します。

日時	5月17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日) 11:30～12:00、13:00～13:30
場所	キッズコーナー(7階)
定員	各回 10組
参加方法	当日先着順



◆コレクション展 無料公開

福岡ミュージアムウィークの**5月17日(土)～25日(日)**は、
アジアギャラリー「アジアコレクション この手が未来を編み直す」
の観覧料が無料です。(5月21日(水)は休館日です。)



【お問い合わせ】

福岡アジア美術館 学芸課(担当: 佐々木・五十嵐)

TEL: 092-263-1100 FAX: 092-263-1105

E-mail: sasaki.g03@city.fukuoka.lg.jp
igarashi.r01@city.fukuoka.lg.jp